

平成31年度予算案

すみだの“夢”実現に向けて、次のステージへ着実に進める予算
～“つながり”を“力”に！～



つながる
墨田区

「育つ」、「育てる」を支える場所を！ 待機児童解消の推進

予算額(新規・拡充)
1,017,738千円

問合せ
子育て政策課長
高橋 義之 内線3401
子育て支援課長
浮田 康宏 内線3441

1 目的

保育所の整備支援や放課後の居場所づくりを推進し、待機児童の解消を図る。

2 主な事業内容

(1) 保育所等整備支援(新規)【320,039千円】

- ・旧家庭センター跡地(区有地)を活用して、社会福祉法人に土地を貸し付け、子育て支援施設を整備。
- ・保育所の待機児童が多い区南部の公有地を活用。(墨田区亀沢三丁目24番2号、敷地面積905.23㎡)
- ・施設内には保育所、学童クラブのほか、子育ての相談や、子どもや親同士が交流できる地域子育て支援拠点を整備。

(2) 私立保育所等整備助成事業(拡充)【624,603千円】

- ・公募・選定した事業者に対する保育所整備費助成。
- ・待機児童が多い区南部を中心に、平成32年4月までに定員300人程度を確保予定。

(3) 学童クラブの増設(拡充)【73,096千円】

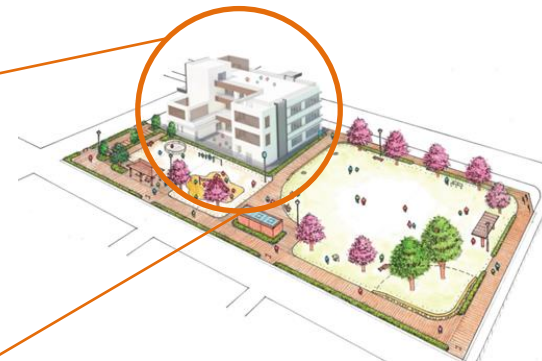
- ・学童クラブの待機児童が発生している地区に整備。
- ・平成31年4月時点で45か所を運営。(平成31年4月から4か所増設。)
- ・私立保育所整備にあわせた学童クラブの併設支援。

旧家庭センター跡地に整備する子育て支援施設
(平成32年(2020年)4月1日開設予定)

【外観イメージ図】



南西側



日進公園(亀沢三丁目)

【施設概要】

構造	地上4階建て 鉄筋コンクリート造	
定員	保育所	113 名
	学童クラブ	40 名
	地域子育て支援拠点	一日 10 組
整備・運営事業者	社会福祉法人 春和会 (江戸川区東小松川五丁目4番1号)	

公園・児童遊園の整備

予算額(拡充)
227,000千円

問合せ
道路公園課長
齋藤 雄吉

内線5051

1 目的

公園や児童遊園は、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用される場所であり、区民ニーズや周辺的环境等を踏まえ、魅力ある公園等の新設・再整備を進める。

2 主な事業内容

(1) 子育てにやさしい公園の整備(拡充)【77,000千円】

個人の善意による寄付金を活用し、柳島児童遊園を子どもたちが楽しくあそべる子育てにやさしい場所として再整備する。

平成32年(2020年)4月開園予定。

また、横川東公園及び業平公園の遊具を改修する。

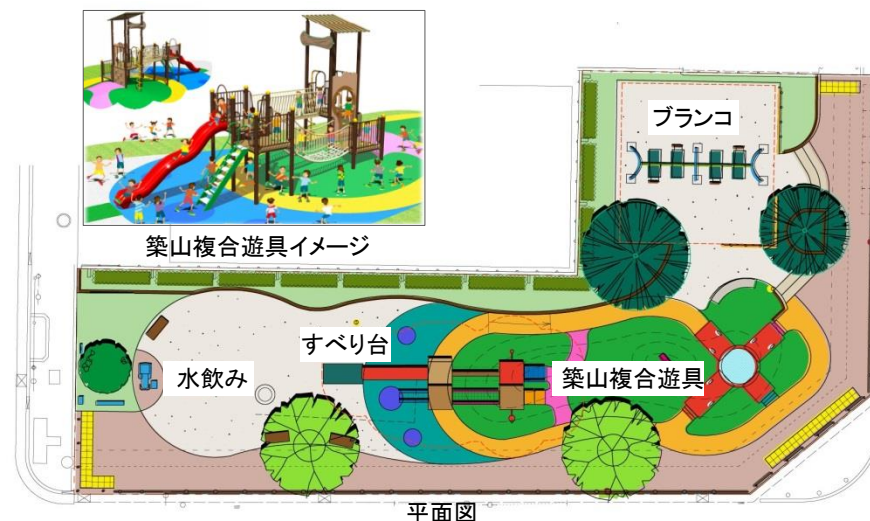
(2) 地域ニーズを反映した公園の整備(拡充)【150,000千円】

隣接する旧家庭センター跡地に民設民営の認可保育所等が新設されることから、平成29年度の区民参加による基本設計及び平成30年度の実施設計に基づき、日進公園を再整備する。

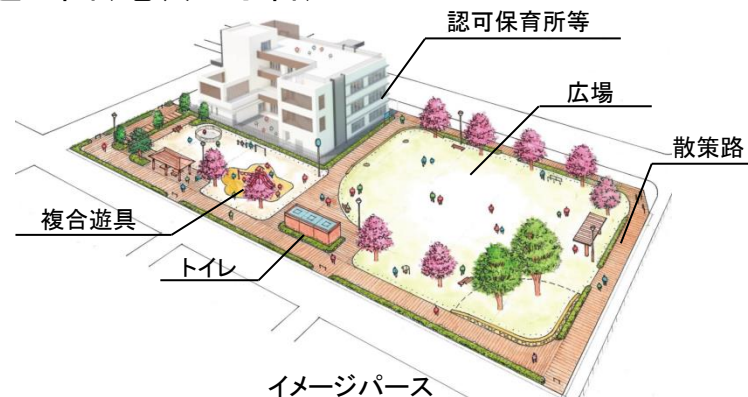
平成32年(2020年)4月開園予定。

■ 整備イメージ

(1) 柳島児童遊園(横川五丁目)



(2) 日進公園(亀沢三丁目)



新米ママのお悩みNo.1にこたえます！ 周産期母子サポート体制の推進

1 目的

既存の「出産・子育て応援事業(ゆりかごすみだ)」に加え、安心して産み・育てられるよう、産前、産後のいわゆる周産期における「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」をさらに充実させる。

2 主な事業内容

■産後ケア事業(新規)【4,087千円】

(1) 宿泊型サービス

必要時に母子で病院等の施設に宿泊してもらい、保健指導、育児相談、乳房ケアなどを行う。

(2) アウトリーチ型サービス

出産後の支援者や身近な相談者がいないなど、不安を抱えている方を対象に、専門職である助産師が利用者の家庭を訪問して、乳房ケアや育児相談・指導を行う。

※アウトリーチ型、宿泊型サービスともに自己負担は2割程度とし、31年度下半期から実施予定。

■新生児聴覚検査費用助成(新規)【7,993千円】

医療機関で実施する新生児聴覚検査費用の一部(3,000円分)を助成する。

予算額(新規)
12,080千円

問合せ
保健計画課長事務取扱
参事 岩瀬 均 内線3501
向島・本所保健センター所長
福田 純子 電話3611-6135

産後ケアにより、安心して子育てができる環境を整備する



◆産後ケアサービスで新米ママを応援します！

<宿泊型サービス>

「眠れない」「食事ができない」など、悩みが深刻な方には、母子と一緒に施設に宿泊し、24時間のケアが受けられるサービスを行います。

<アウトリーチ型サービス>

新米ママに一番悩みの多い「母乳に関するご相談」には、実際に、母乳マッサージなどを行うほか、セルフケアの方法もお伝えします。

耳の聞こえの障害を早期発見し、早期治療につなげる

<新生児聴覚検査>

生後間もない赤ちゃんに眠っている間に小さな音を聞かせて耳の聞こえの障害を早い時期に発見するための検査です。



日本耳鼻科学会新生児聴覚検査イメージ

子育てひろば整備事業

予算額(継続)
240,629千円

問合せ

子育て支援総合センター館長
村田 里美

電話5630-6351

1 目的

在宅の子育て世帯が地域で安心して子育てができるように、親子での交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談や講座の開催など楽しい子育てを支援する。

2 主な事業内容

(1) 両国子育てひろば整備事業(継続)【75,168千円】

東京都が実施する(※)両国リバーセンタープロジェクトに参加し、両国子育てひろばを整備する。

(※)隅田川沿いの両国地区において、舟運の活性化を促し、川とまちとが結びつくような水辺空間を創出し、災害時の物資輸送等の中継拠点として活用することを計画したもの。

(2) 文花子育てひろば整備事業(継続)【165,461千円】

現在、大学誘致用地内に設置している文花子育てひろばを近隣の場所に移転整備する。なお、新設の子育てひろばでは、新たに一時預かり事業を実施する予定。

両国子育てひろば

[場所]横網1-2
(仮称)両国リバーセンター1階・2階
[延床面積] 約985㎡
[完成予定]平成32年4月末



皆さんと一緒に子育てを考え、
子どもの健やかな成長をお手伝いします

文花子育てひろば

[場所]文花1-20
[延床面積] 約630㎡
[完成予定]平成32年9月末



子育て世帯の定住促進支援事業

予算額(継続)
30,450千円

問合せ
住宅課長
佐久間 英樹
内線3931

1 目的

子育て世帯が、新たに住宅を取得する場合や区内で民間賃貸住宅に転居する場合等に、費用の一部を支援することで、子育て世帯の区内への定住を促進する。

2 主な事業内容(全て継続)

(1)三世帯同居・近居住宅取得支援事業【13,000千円】

子育て世帯が、区内在住の親世帯と同居又は近居するため、新たに住宅を取得する場合に、最大50万円の助成を行う。

・平成30年度実績：25世帯(平成31年1月29日現在)

(2)民間賃貸住宅転居・転入支援事業【11,000千円】

子育て世帯が、区内で転居する場合や区内在住の親世帯と同居又は近居するため区外から転入する場合に、最大36万円の転居費用の助成を行う。

・平成30年度実績：20世帯(平成31年1月29日現在)

(3)空き家等の利活用推進事業【6,450千円】

空き家等の様々な相談にワンストップで対応できる総合相談窓口の構築や、空き家を生子育て世帯向け住宅に改修する場合の支援制度について検討する。

・平成30年度：空き家利活用モデル事業実施中

(1)三世帯同居・近居住宅取得支援事業

新たに住宅を取得し、親世帯と同居・近居することで…
☒安心して子育てができる！
☒お互いの様子をいつでも確認できる！

住宅購入をサポート！



(2)民間賃貸住宅転居・転入支援事業

今よりも広い民間賃貸住宅に転居・転入することで…
☒子育てしやすい住環境が確保できる！

引っ越しをサポート！



(3)空き家等の利活用推進事業の検討

増加傾向にある空き家への対策として…
☒空き家問題に関する総合相談窓口の構築を目指します！
☒子育て世帯向け住宅の改修支援策を検討します！

<総合相談窓口のイメージ>

管理・相続・賃貸・売買等



弁護士
司法書士
建築事業者
建設・解体事業者
不動産事業者
金融機関 ……

すみだの子どもを守ります！ 児童虐待対応強化事業

予算額(新規)
6,846千円

問合せ

子育て支援総合センター館長
村田 里美

電話5630-6351

1 目的

児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応により、全ての児童が健全に育成されるよう、都と区が役割を踏まえつつ、更なる連携強化に向けた取組を行うことにより、子育て支援総合センターの機能強化を図る。

2 主な事業内容

(1) 都区の役割を踏まえた連携強化

ア 要支援ショートステイ事業(新規)【6,742千円】

保護者の強い育児疲れや虐待のリスクが見られる家庭を対象に、児童を一定期間、乳児院で養育し、支援プランの作成・実施等によって、児童虐待の予防を図る。

イ 子供を守る地域ネットワーク巡回支援事業(継続)

子育て支援総合センターの巡回チームが、区立小中学校や保育園などを巡回することによって、子育て関係機関の連携を強化し、児童虐待の予防・早期発見につなげる。

ウ 都区間の情報共有の徹底(充実)

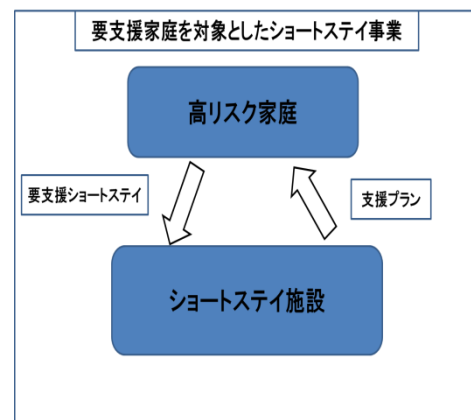
子育て支援総合センターの館長を月4回、児童相談所に派遣して、虐待対応力向上などにつなげる。

(2) 弁護士との連携(新規)【104千円】

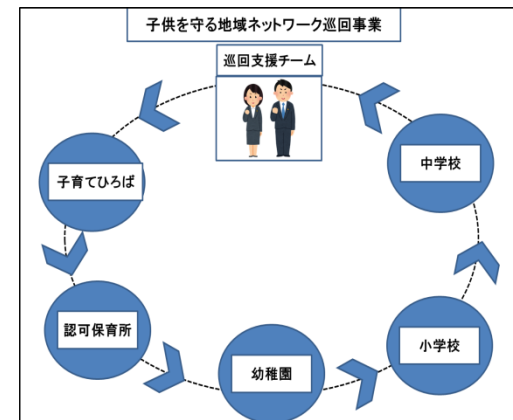
児童虐待の問題に精通した弁護士から、児童を取り巻く環境における法的対応について、助言を得ることにより、子育て支援総合センター職員のスキルアップを図る。

◆ 都区の役割を踏まえた連携強化

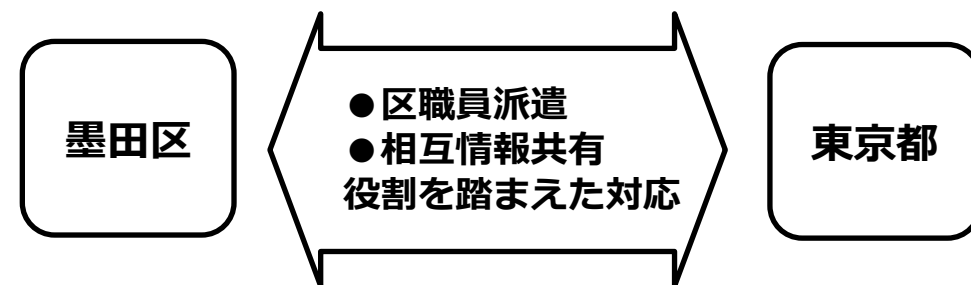
● 要支援ショートステイ事業



● 子供を守る地域ネットワーク巡回支援事業



● 都区間の情報共有の徹底



上記全ての事業を実施するに当たり、都と区が密接な協力関係を築き、事業を円滑に推進することを目的とした協定を締結予定。

学校屋内運動場への空調設備整備

1 目的

児童・生徒の猛暑による熱中症対策及び災害発生時の避難所施設の機能向上を図るため、区立中学校全校の屋内運動場に空調設備を整備する。

2 主な事業内容

平成31年の夏までに、先行して区立中学校2校に空調設備を整備する。その整備方法などの検証を行いながら、年度内に全区立中学校へ空調設備を整備する。

3 スケジュール

平成33年度までに全区立小・中学校に空調設備を整備する予定。

予算額(新規)
28,000千円

問合せ
庶務課長事務取扱
参事 宮本 知幸
内線5012

地域に開かれた魅力ある学校環境をつくれます

<区立中学校の屋内運動場>

- ☆ 児童・生徒の良好な教育環境の整備
- ☆ 大規模災害時における防災拠点としての機能向上



空調設備 を設置



～ 猛暑による熱中症予防対策 ～



～ 避難所施設の環境向上 ～



グローバル社会に生きる自分を発見！ 英語教育の更なる充実

予算額(新規・拡充)
5,700千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長 横山圭介内線5140
学務課長 西村克己内線5121

1 目的

将来、社会で活躍し、地域に貢献できる国際感覚のある人材の育成を図るため、外国語(英語)教育を充実する。

2 主な事業内容

(1) 小学校への外国人講師派遣(拡充)【4,000千円】

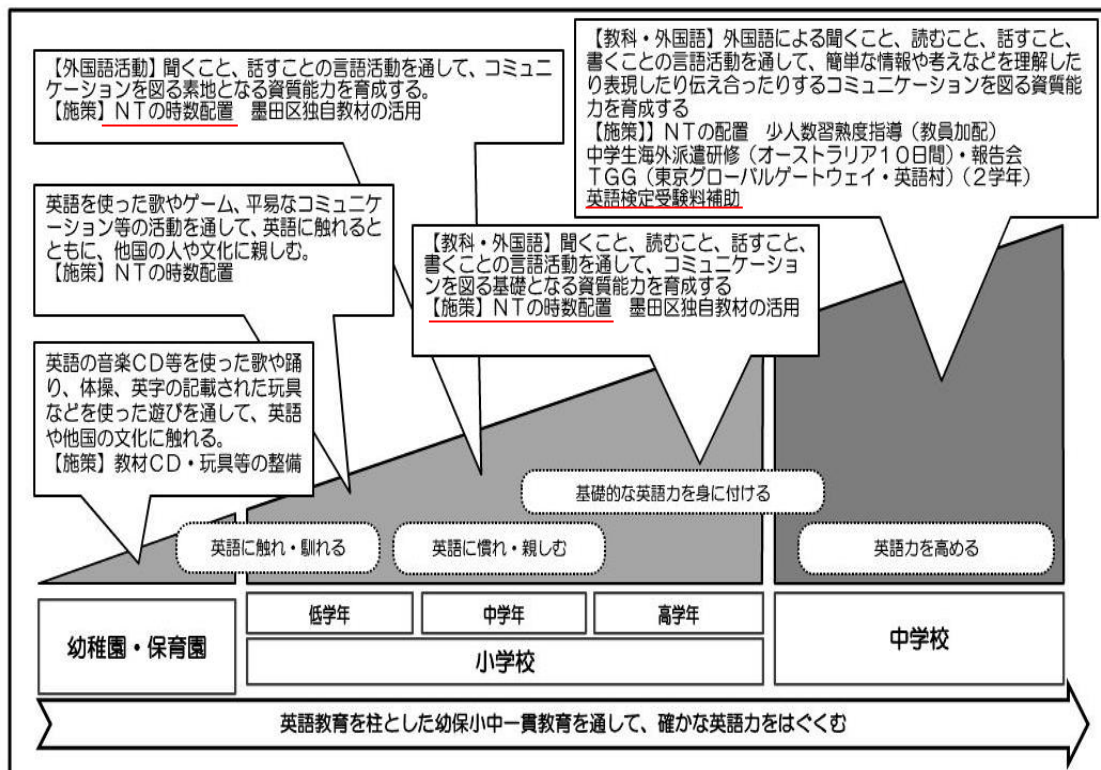
小学校中学年・高学年の外国語の教科化に伴い、NT(外国人講師)と接する機会を増やすことで、指導を充実させ、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

(2) 英語検定受験料補助(新規)【1,700千円】

中学生の英語能力の現状把握や入試制度改革等への対応を踏まえ、就学援助対象の生徒(世帯)に対し、実用英語検定受験料の補助を行うことで、受験及び資格取得を促進していく。

墨田区立学校における外国語(英語)教育の体系

新学習指導要領(平成29年3月公示)における目標を実現し、墨田区教育施策大綱に示された目指す子供の将来像である「将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人」、「郷土に誇りをもち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人」の育成を図るため、就学前教育から義務教育段階までの外国語(英語)教育の充実を図る施策に取り組んでいます。



「学力向上新3か年計画」の 着実な推進

1 目的

墨田区の児童・生徒が「確かな学力」を身に付けるため、「墨田区学力向上新3か年計画」に基づく取組を実施し、さらなる学力向上を目指す。

2 主な事業内容

(1)「墨田区学力向上新3か年計画(第2次)」の策定

現計画に基づいた3年間の取組を検証し、平成31年度に第2次計画を策定することで、児童・生徒のさらなる学力向上を目指す。

(2)教材開発及び放課後学習支援の強化等(拡充)【8,431千円】

教育指導員を1名増員し、「教材や教員の指導のポイントのさらなる充実」及び「効果的な放課後補習の研究等」を行うことで、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

(3)すみだスクールサポートティーチャー(すみだSST)による学習支援(拡充)【24,063千円】

年度の早い段階に放課後補習(春期補習)を実施することで、児童・生徒の学習のつまづきを早期に解消していく。

(4)すみだチャレンジ教室の実施(継続)【11,992千円】

基礎・基本の定着、学習意欲の向上、学習習慣の確立を図るため、学力低位層の児童・生徒を対象に少人数指導の補習教室を実施する。平成31年度は、実施時期を学習のつまづきがみられる夏休み以降に実施する。

予算額(拡充・継続)
44,486千円

問合せ
教育委員会事務局
すみだ教育研究所長
石原 恵美 内線5231

授業

分らない・
できない



「分かる」「できる」ようにするための取組

放課後

- ・年間を通じて、各学校へすみだSSTを配置
- ・特に年度の早い段階(春期補習)にすみだSSTを配置
- ・中学校の図書室へすみだSSTを配置(学校図書館の利用促進)
- ・大学生のチームを学校へ派遣し、放課後補習を支援



土曜日

- ・すみだチャレンジ教室の実施(夏休み明け以降)

夏休み

- ・小学校へすみだSSTを配置し、夏休み補習を実施
- ・中学生対象のすみだチャレンジ教室を実施

教育指導員

教材開発や指導のポイント等の作成を強化し、学力の定着を図る。あわせて、放課後補習の支援を強化する。



児童・生徒の不登校対策 (予防・早期対応)

予算額(新規・継続)
87,353千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長 横山圭介
内線5140

1 目的

不登校対策基本方針に基づき、具体的な支援策を推進することで、全ての児童・生徒それぞれの自己実現や社会の構成員として必要な資質・能力の育成を支援する。

2 主な事業内容

(1) 児童・生徒・保護者が安心できる教育相談環境

- ①スクールカウンセラーの配置(継続)【51,345千円】
- ②大学生ボランティア等によるメンタルフレンドの導入(新規)【156千円】
不登校児童・生徒の不安を軽減し、対人関係能力等を育む。
- ③夜間電話相談窓口による相談対応(継続)【2,640千円】
- ④不登校対策スーパーバイザーによる指導・助言(継続)【60千円】

(2) 不登校やその傾向にある児童・生徒及び保護者への支援

- ①スクールソーシャルワーカーの配置(継続)【12,528千円】
- ②適応指導教室(ステップ学級)、自立支援教室(サポート学級)の設置(継続)【20,624千円】
基礎的学力の補充学習、ソーシャルスキルを高める学習等を行う。

墨田区立学校不登校対策基本方針

各校が組織的に不登校予防、早期対応を行うために

児童・生徒・保護者が安心できる
教育相談環境

1 スクールカウンセラー

児童・生徒へのカウンセリング
カウンセリング等に関する
教職員、保護者への支援



2 メンタルフレンド

大学生ボランティア等が家庭や学校、
適応指導教室、自立支援教室に訪
問し、該当児童・生徒を支援

3 夜間電話相談窓口

不登校等に悩む児童・生徒や保護
者が夜間・休日を含めて、相談対応

4 不登校対策担当者へ指導・助言
不登校の予防、組織的な早期対応
について指導・助言

不登校やその傾向にある
児童・生徒及び保護者への支援

1 スクールソーシャルワーカー

教育分野に加え、社会福祉に関
する専門的な知識を基に、
多様な支援方法で課題
を解決



2 適応指導教室、自立支援教室 (ステップ学級、サポート学級)

補充学習、ソーシャル
スキルを高める学習を
行う



3 子供未来応援会

不登校児童・生徒の保護者を対
象とした相談会を開催し、保護者
の不登校解消及び家庭における
学校復帰支援を充実する

すみだすまい

安心ネットワーク事業

予算額(新規・拡充)
9,420千円

問合せ
住宅課長
佐久間 英樹
内線3931

1 目的

不動産関連事業者や福祉サービスの提供主体など関係団体との協力・連携体制を強化することで、高齢者や障害者、子育て世帯などの住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への居住等を支援していく。

2 主な事業内容

(1) 家主と入居希望者とのマッチング

家主が所有している物件を、住宅確保要配慮者向け住宅として都に登録。当該住宅を活用し、区が家主と入居希望者とのマッチングを図ることで、住宅の確保を実現する。

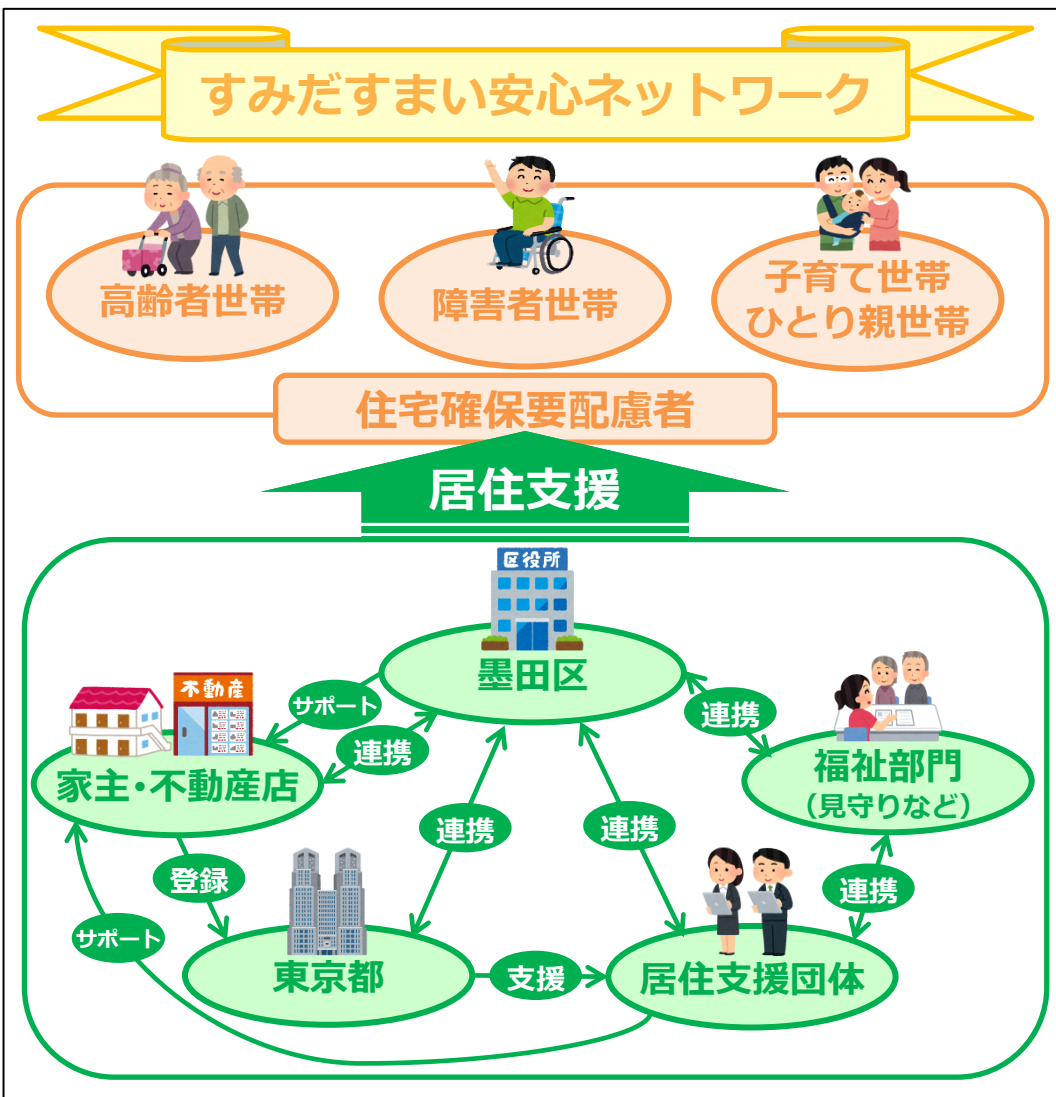
(2) 家主や入居者への経済的支援(新規・拡充)【9,420千円】

- ①家賃低廉化補助(拡充)[7,200千円]
- ②家賃債務保証料低廉化補助(新規)[600千円]
- ③少額短期保険加入に係る保険料補助(新規)[120千円]

23区初! ④家主への成約謝礼金(新規)[1,500千円]

(3) 居住支援団体の活用

入居相談や家賃債務保証等の居住支援活動を行うNPO法人等と区が連携し、家主や入居者に対するサポートを実施する。



「住みなれた地域で暮らす」を支える

1 目的

高齢者等が幅広い相談をでき、かつ介護予防等の活動に取り組める拠点を整備する。また、介護未経験者の参入及び段階的なスキルアップを区が支援する。

2 主な事業内容

(1) 福祉総合型高齢者支援総合センターの整備(拡充)【11,435千円】

現「たちばな高齢者支援総合センター」と、「文花高齢者みまもり相談室」を、機能を強化し再整備。

ぶんか高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室
(都営文花一丁目団地内) 平成31年夏開設予定

◆ 機能強化のポイント

- ① 身体障害者手帳取得に関する案内窓口の設置
- ② 地域協働型の地域包括ケア推進事業を実施。

(2) 介護人材緊急対策事業(新規)【5,197千円】

① 介護職養成研修事業

短期間の「入門的研修(21時間)」「(一部保育付き)を実施。研修修了者と区内介護事業者との就労相談会、ステップアップ研修への繋ぎ及び東京都等の研修費用助成の紹介。

② 介護福祉士等の養成講座受講者に対する受講料等の助成事業

介護職養成講座等の受講後区内介護事業所に就労した場合に、受講料の一部を区が助成する制度。

予算額(新規・拡充)

16,632千円

高齢者福祉課(1) 11,435千円

介護保険課(2) 5,197千円

問合せ

介護・医療連携調整推進担当

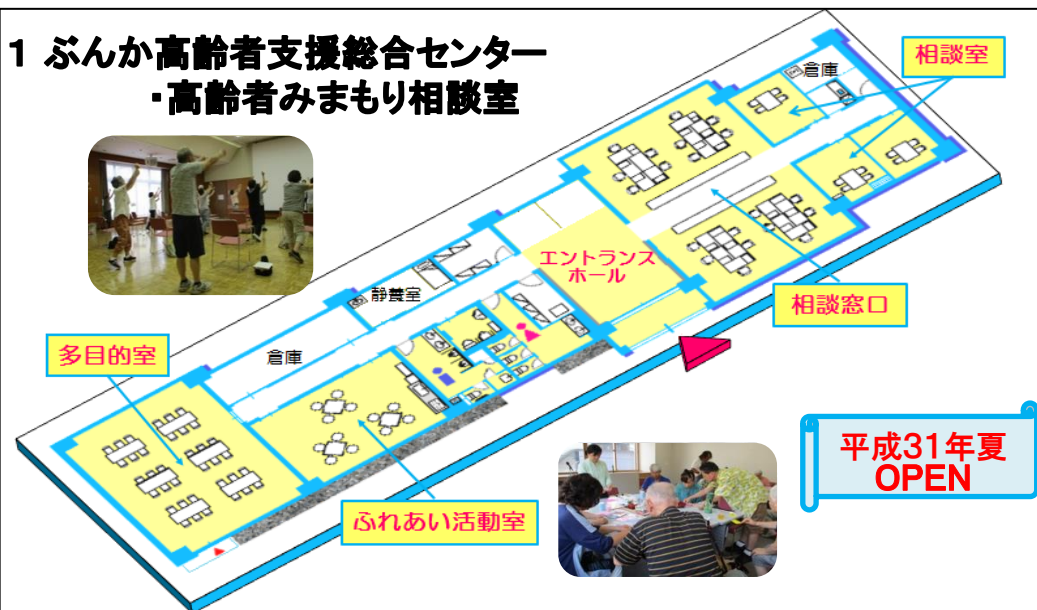
副参事 梅原 和恵 内線3411

介護保険課長

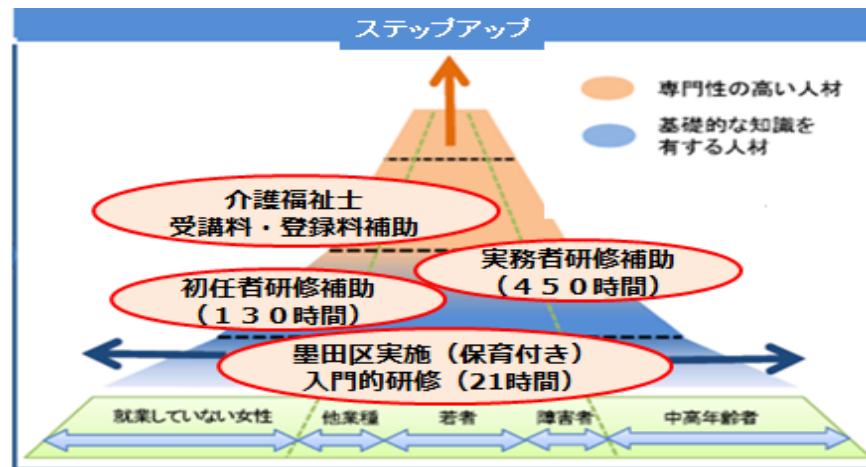
岩下 弘之

内線3491

1 ぶんか高齢者支援総合センター ・高齢者みまもり相談室



2



区民の健康を守るために 総合的ながん対策の推進 受動喫煙防止対策の推進

1 目的

胃がんによる死亡者を減少させるため、胃内視鏡検査を導入する。また、区民の健康を守るため、受動喫煙防止対策を強化する。

2 主な事業内容

(1) 総合的ながん対策の推進(拡充)【130,530千円】

現在、区の胃がん検診は、胃部エックス線検査(バリウム検査)により実施しているが、平成31年度からは、胃部エックス線検査に加え、胃内視鏡検査を導入する。



(2) 受動喫煙防止対策の推進(新規・拡充)【3,900千円】

① 禁煙治療費補助(新規)【1,951千円】

禁煙外来での本人負担額や、禁煙補助剤の購入費に一部補助をする。

② 普及啓発活動(拡充)【405千円】

健康増進法一部改正、東京都受動喫煙防止条例の制定に伴い、受動喫煙防止の必要性、区民の責務等について普及啓発を行う。

③ 禁煙ステッカー等の配布(新規)【1,544千円】

健康増進法一部改正、東京都受動喫煙防止条例の制定に伴い、禁煙ステッカーの店頭表示が義務化となるため、飲食店等にステッカー等を配布する。

予算額(新規・拡充)
134,430千円

問合せ
保健計画課長事務取扱
参事 岩瀬 均
内線3501

胃がん検診の拡充を図り、がんによる死亡者を減らす

	30年度まで	31年度	
検査項目	問診および胃部エックス線検査	問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査	
対象者	40歳以上	胃部エックス線検査 (従来と同様)	胃内視鏡検査
		40歳以上	50歳以上
受診間隔	1年に1回	1年に1回	2年に1回
		※胃内視鏡検査を受診以降は、胃部エックス線検査を受診する場合も2年に1回	
自己負担額	無料	無料	1,500円

受動喫煙対策を推進し、健康な社会を実現する



禁煙にかかる医療費
自己負担分、禁煙補助剤
購入費の補助
(上限1万円)

飲食店に禁煙・喫煙可のステッカーを表示し、受動喫煙を防ぐ。



京島・鐘ヶ淵周辺のまちづくり事業

予算額(継続)
704,500千円

問合せ
防災まちづくり課長
小柳 堅一

内線3971

1 目的

京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺地区は、木造住宅密集地域の不燃建築物への建替促進や避難路の拡幅等の事業を推進している。

また同地区は、東京都が実施する「木密地域不燃化10年プロジェクト」の不燃化特区にも選定され、事業を推進している。

平成31年度は、安全な避難を行うための基盤整備や公園整備、不燃建築物への建替え、共同化の促進等を進めていく。

2 主な事業内容(全て継続)

(1)京島地区まちづくり事業(住宅市街地総合整備事業)【202,000千円】

京島3丁目側の優先整備路線の完成に続き、京島2丁目側の整備を行っていく。平成31年度は4号線の完成及び地元協議会との連携を図る。

(2)鐘ヶ淵周辺地区防災都市づくり推進事業【323,000千円】

①鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり【11,000千円】

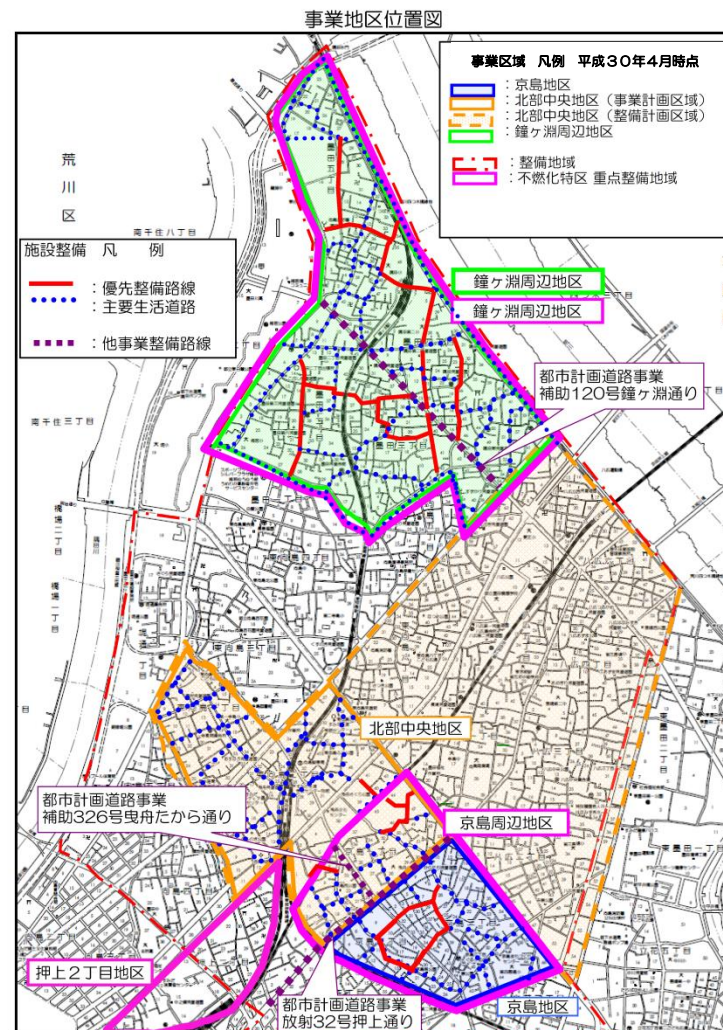
「道路整備と一体的に進める沿道まちづくり」を都と区が連携して行い、鐘ヶ淵駅付近の立体交差化の早期実現に向け、都の事業地区選定をめざす。

②鐘ヶ淵周辺地区住宅市街地総合整備事業【312,000千円】

街路事業や他のまちづくり事業と連携して、老朽家屋の解消や地区施設等の整備を引き続き実施する。

(3)木密地域不燃化10年プロジェクトの推進【179,500千円】

京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺地区内の現地事務所に常駐する「まちづくりコンシェルジュ」が、具体的な建替えプランの提案や戸別訪問等を行い、建替え意欲の向上に努めると共に、一層の防災意識の醸成と地域の安全性向上を図る。



住み慣れたまちと命を守るために！ 木造住宅耐震化促進助成事業

予算額(継続)
105,810千円

問合せ
防災まちづくり課長
小柳 堅一

内線3971

1 目的

木造住宅の地震に対する安全性の向上を図ることで、災害に強いまちづくりを推進し、地震による木造住宅の倒壊等の被害から区民の生命、身体及び財産を保護する。

2 主な事業内容

(1)耐震化促進助成事業(継続)

①区内全域

ア:耐震診断助成【9,300千円】

助成率1/2、上限7万5千円、又は助成率1/1、上限15万円

イ:計画作成助成【②アを含み5,850千円】

助成率1/2、上限5万円

ウ:簡易耐震改修工事助成【8,800千円】

助成率1/2～5/6、上限40万円～80万円

エ:耐震シェルター設置費助成(高齢者等に限る)【500千円】

助成率9/10、上限50万円

②緊急対応地区内

ア:計画作成助成(耐震改修の場合)【①イを含み5,850千円】

助成率1/1、上限15万円

イ:耐震改修工事助成【52,200千円】

助成率1/2～5/6、上限135万円又は150万円

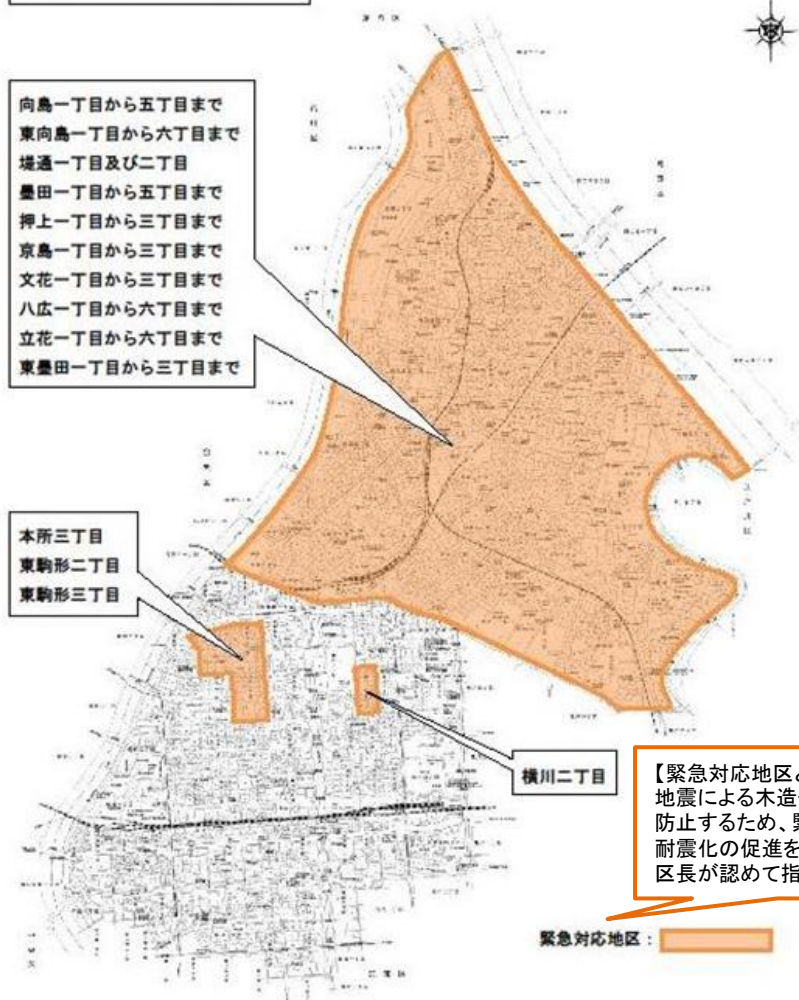
ウ:除却費助成【25,000千円】

助成率1/2、上限50万円

(2)普及啓発事業(継続)

無料耐震相談等・耐震化普及啓発活動団体補助【4,160千円】

緊急対応地区図



16 ～踏切除却による渋滞解消・まちの活性化～

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)
立体化事業

予算額(拡充)
1,542,650千円

問合せ
立体化推進課長
江波戸史恭

内線3991

1 目的

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)を高架化することで、踏切による交通事故の危険性や渋滞を解消し、安全で円滑な交通機能を確保するとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

2 主な事業内容

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業
(拡充)【1,542,650千円】

伊勢崎線第2号踏切(桜橋通り)を中心に、約0.9kmの鉄道を高架化することで、踏切を解消する。

○平成31年度

- ・ 仮線切り替え工事

○今後の主なスケジュール

- ・ 平成34年度末(2023年) 踏切除却予定
- ・ 平成36年度末(2025年) 事業完了予定



事業パンフレット
(窓口で配布しています)

Before
高架化前



伊勢崎第2号踏切(桜橋通り)の渋滞

After
高架化後



桜橋通り付近の高架化イメージ

墨田区事業継続計画

(BCP)＜地震編＞の改定

予算額(新規)
4,000千円

問合せ
防災課長
金子 真也

内線3551

1 目的

東日本大震災や熊本地震そして平成30年7月豪雨等、全国各地で大規模な自然災害が発生し、防災対策への新たな教訓や課題も明らかとなっている。そのため、現計画(平成21年度策定)を改定し、災害時における区政の機能維持、早期復旧を図り、区民の生命及び財産を守る。

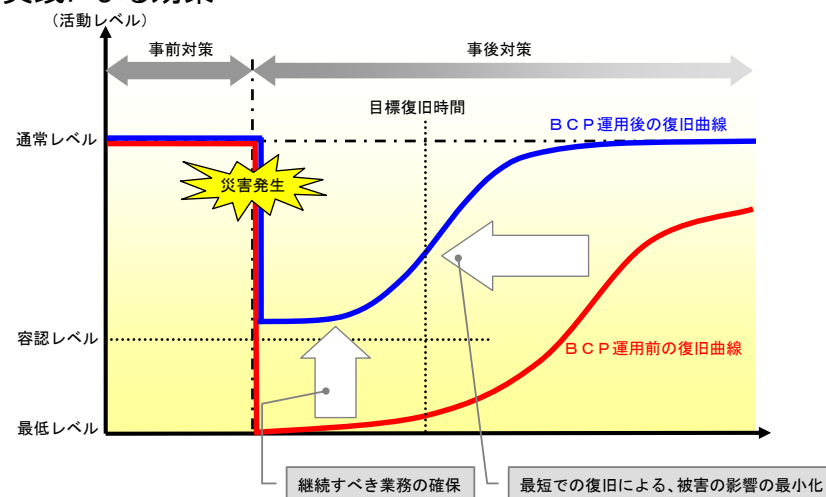
2 主な事業内容

墨田区事業継続計画(BCP)＜地震編＞の改定 (新規)【4,000千円】

現計画(地震編)の内容を基本とし、東京都が公表した新たな被害想定を踏まえた内容に改定する。さらに、全国各地で発生した大規模自然災害、大規模水害への対応も含んだ(仮称)災害編として策定する。

※事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)は、災害発生時に区が実施する応急復旧業務と優先度の高い通常業務等を事前に決めておき、発災時には、限られた職員や資機材等の資源を重点的に投入して、事業の継続又は早期復旧を図るためのもの。

■BCPの実践による効果



■今回の改定内容のイメージ

墨田区事業継続計画
(BCP)
＜地震編＞
平成21年度策定

- ＋ 全国で発生した災害の教訓・ノウハウ
(東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震など)
- ＋ 東京都震災被害想定(改定)の改定(平成24年度)
- ＋ 大規模水害を想定した内容

墨田区事業継続計画
(BCP)
＜(仮称)災害編＞

策定後、訓練等の実施により
実効性を高めていく！



地域の課題をみんなで考えよう！ 地域力向上プラットフォーム事業

予算額(新規)
500千円

問合せ
地域活動推進課長事務取扱
参事 前田 恵子

内線5401

1 目的

地域で暮らす区民、町会・自治会、区内事業者、商店街、NPO等、地域で活動する主体で構成し、地域の課題を自主・自立的に解決していくための「地域力向上プラットフォーム」を整備する。

2 主な事業内容

(1) 地域力向上プラットフォーム事業(新規)【500千円】

区内に小地域(1連合町会程度)を定め、その地域で暮らす区民等が、地域で抱える地域課題の解決に向けて、それぞれが得意とするネットワークや知恵を生かしながら、地域の理想の将来像を考え、活動する場＝「地域力向上プラットフォーム」を構築する。

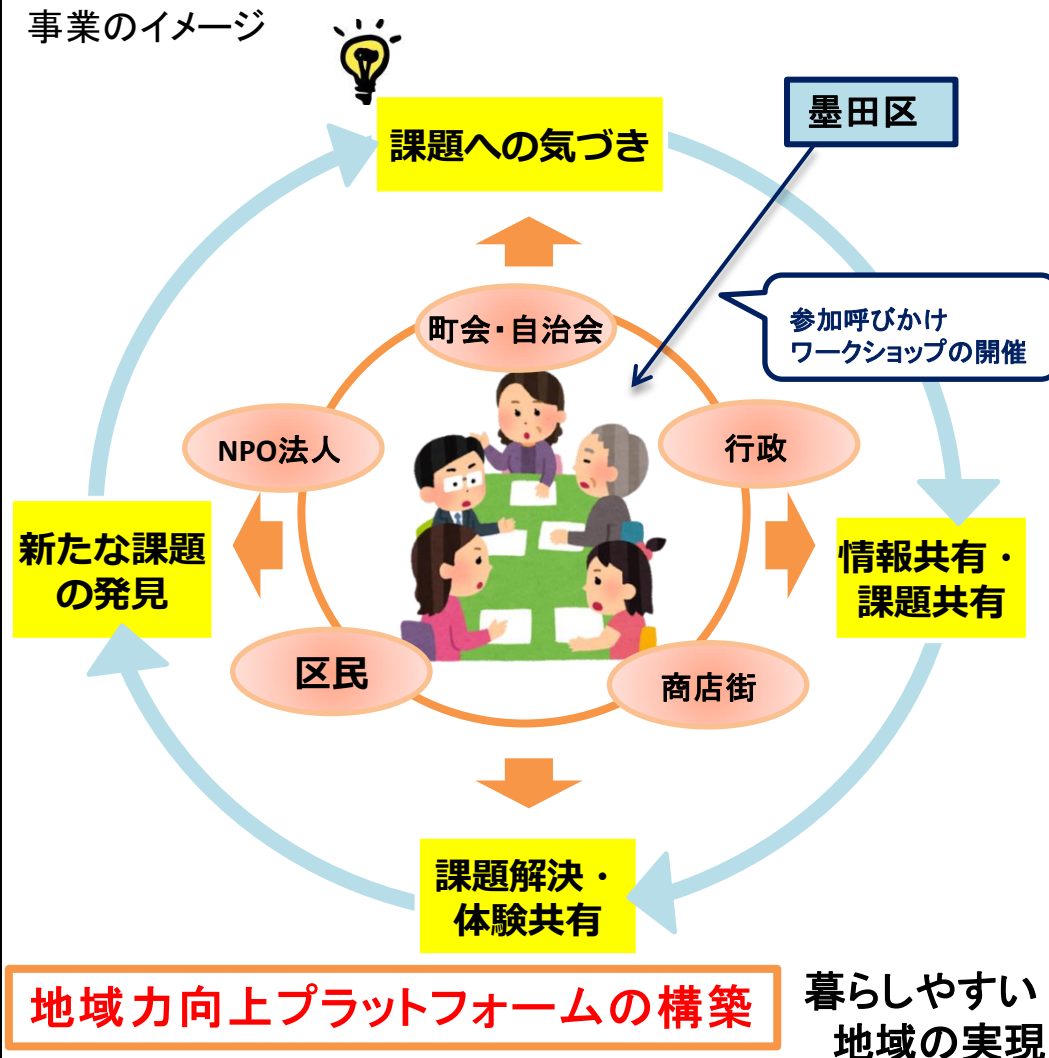
①ターゲット

地域の課題解決のために、積極的に活動しようと考えている区民、町会・自治会、商店街等

②実施内容

- ア. ワークショップの実施(地域課題を認識・共有する)
- イ. 協働体制構築(地域課題解決)
- ウ. 地域課題解決に向けての取組検討

事業のイメージ



すみだだヨ！ スタートアップ全員集合 ものづくりで社会の課題なんでも解決！

予算額(新規)
15,000千円

問合せ
経営支援課長
田村俊彦

内線5421

1 目的

区内にあるものづくりネットワークを活用し、新たな産業の担い手であるスタートアップ企業等と区内企業が互いに協力しながら、社会課題の解決策を共に生み出す連携体制を構築する。

2 主な事業内容

(1)ものづくりスタートアップ連携促進事業(新規)【15,000千円】

①次世代ものづくり人材の育成 23区初

区内の町工場等を学びのフィールドとして、区内外の教育ベンチャーと連携しながら、STEM教育※1の考え方を取り入れた次世代ものづくり人材を育成する。さらに、本区に開学予定の(仮称)専門職大学や千葉大学と連携したリカレント教育※2も実施していく。

②スタートアップ企業等への支援

【引き寄せ】ものづくりを必要とするスタートアップ企業等へ情報を発信する。

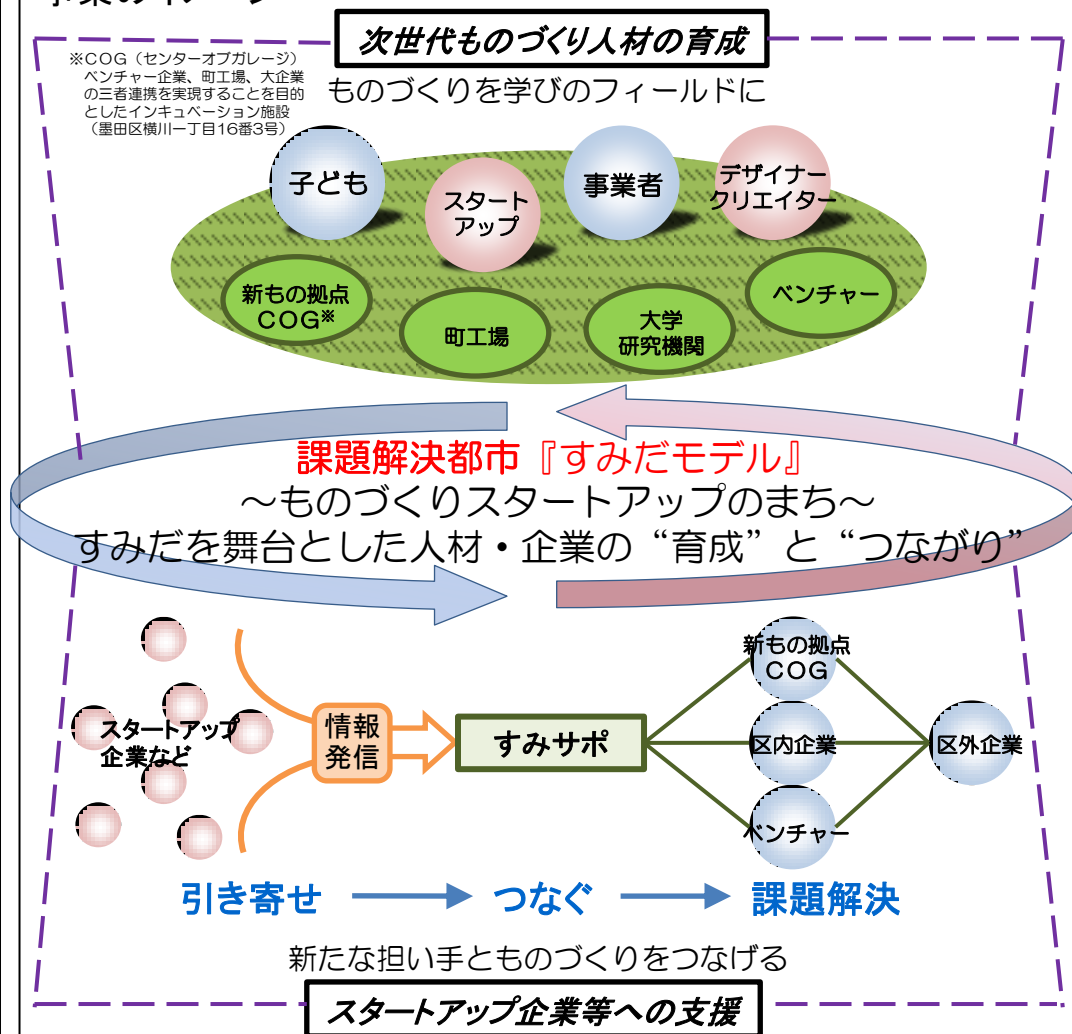
【つなぐ】すみサポが製品化における仕様作成等の指導を行う。その上、製品化スキルを保有する企業につなぐ。

【課題解決】新たな製品・サービスを創出する。

※1「STEM教育」…(科学)Science、(技術)Technology、(工学)Engineering、(数学)Mathematics これら4つの学問の教育に力を注ぎ、IT社会とグローバル社会に適応した国際競争力を持った人材を多く生み出そうとする、21世紀型の教育システム

※2「リカレント教育」…社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくことを生涯続けることができる教育システム

事業のイメージ



やめないで！ 行かないで！ ～すみだでの事業継続を徹底支援～

予算額(新規・拡充)
80,536千円

問合せ
経営支援課長
田村俊彦

内線5421

1 目的

区内中小企業の後継者不足による廃業や、住宅地に近接する事業所の区外転出を防ぎ、区の産業集積を維持するための企業支援を実施する。

2 主な事業内容

(1)すみだビジネスサポートセンターへの

事業承継支援の統合(拡充)【64,888千円】

事業承継の相談窓口をすみサポに一本化し、ワンストップサービスの強化を図るとともに長期的な視点から複合的、継続的な支援を行う。

(2)融資制度の創設(新規)【15,648千円】

①事業承継支援資金【12,275千円】

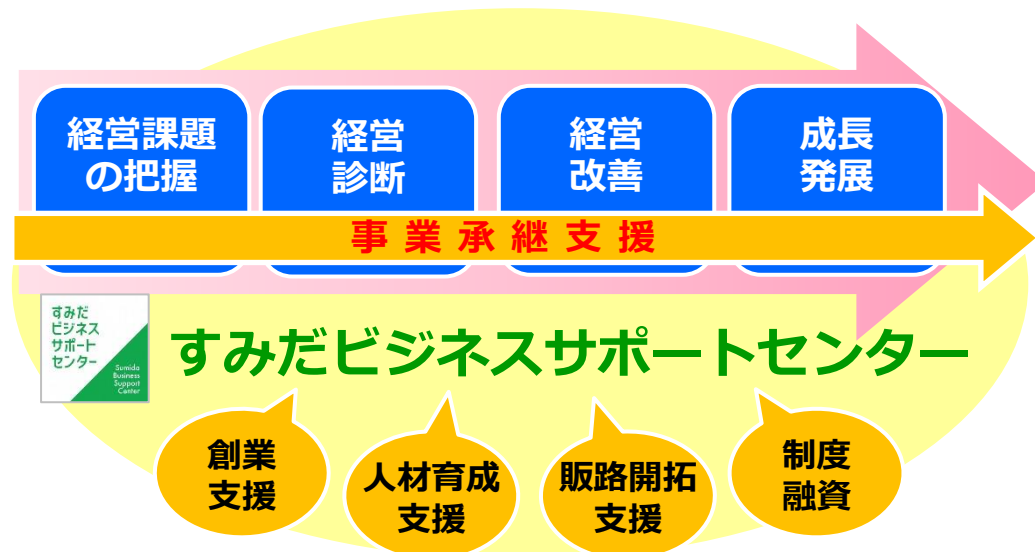
事業承継を目指す区内中小企業が、承継手続費用や承継後の事業促進に係る費用を円滑に取得することを支援するための融資制度を創設する。

②環境改善資金 [3,373千円]

近隣住民とのトラブルを未然に防ぐ、または迅速に解消するため、区内中小企業が軽度の騒音や振動、臭気等を発生させるおそれがある場合に利用可能な融資制度を創設する。

近隣住民とのトラブル対策に
特化した融資は**23区初**

(1)すみサポへの事業承継支援の統合



(2)事業承継支援融資、環境改善資金融資の概要

資金名	資金 使途	融資限度額	期間	利率 (年利)	区補助率	保証料補助
事業承継 支援資金	運転 設備	2,000万円	7年以内 (据置12か月含む)	2.0%	1.8%	全額
環境改善 資金	設備	1,000万円	9年以内 (据置12か月含む)	2.2%	2.2%	-

産業振興施策ブランディング 再構築・発信力強化

予算額(拡充)
53,000千円

問合せ
産業振興課長
中山 賢治

内線5441

1 目的

産業振興施策全体の統一的なブランディングの再構築を行い、多様な手法により、ものづくりの魅力を広く発信し、すみだの知名度の向上とイメージアップを図る。

2 主な事業内容

(1) 地域ブランド戦略の推進(拡充)【45,000千円】

＜2019年度＞

ブランディングの見直しを行い、従来の「すみだモダン認証商品」の中から、より認証基準に合致したものを選定するほか、公募以外の商品からも基準に見合うものを発掘し、事業の再検証・再構築を図る。

＜2020年度＞

検証結果を基にブランディングのコンセプトをまとめた「ブランドブック」を製作する。東京オリンピック・パラリンピック後の2021年度からは、事業ごとに異なっていたブランディングを産業施策全体を統一するものに改め、リスタートする。

(2) ものづくりプロモーションの推進(拡充)【8,000千円】

従来の補助金制度を見直し、各種ものづくりイベントの相互連携や統合、新規イベントの創出を促進する。

【補助金】 上限1,500千円(補助率10/10)
参加企業30社以上 上乗せ補助1,000千円

【補助対象】 すみだモダンブランド認証、3M運動認定、
新ものづくり創出拠点、リーディングファクトリー選定

事業のイメージ

すみだ地域 ブランド戦略

- ・すみだモダンブランド認証
- ・ものづくりコラボレーション
- ・販路開拓・PR

- ・ブランド戦略の成果・効果の検証
- ・産業施策の実効性分析と効果測定
- ・リブランディング、新規施策の構築

ものづくり プロモーション

- ・すみだ3M運動
スペシャルウィーク
- ・すみだガラス市

ものづくりイベント

- ・スミファ
- ・コーヒーフェス
- ・すみだ川ものコト市 等

- ・ものづくりイベントの補助金見直し
- ・イベント同士の連携、統合
- ・新規イベントの創出

見直し効果

統一的なブランドイメージの強化と関連イベントの充実により、
区民のまちへの愛着を深めながら、すみだの「ものづくりのまち」
としての地位を確立し、知名度の向上とイメージアップを図る。

22 コトづくりの場『コトノバ』を創出！ 観光回遊路を活用した プロモーションの検討

予算額(新規)
10,000千円

問合せ
産業振興課長
中山 賢治

内線5441

1 目的

東京2020大会を見据え、北十間川沿いにエリアマネジメントの考え方を取り入れた、新たな物販・観光及び地域交流等のプロモーション手法の検討。

2 主な事業内容

コンセプトワークの実施(新規)【10,000千円】

3年間限定(拠点開始時期から)のプロモーションに向け、機能や基本コンセプトについて専門家を交えた検討を行う。

【具体的な検討案 ～様々なコトづくりの場を創出～】

①商品ブランドの構築

すみだ まち処の課題を踏まえて検討する。

②地域との交流

エリアマネジメントの拠点とする。

③文化交流・舟運

インバウンド施策として、相撲部屋やホテルとの連携のほか、船着場に関する案内の場とする。

④歴史と伝統工芸

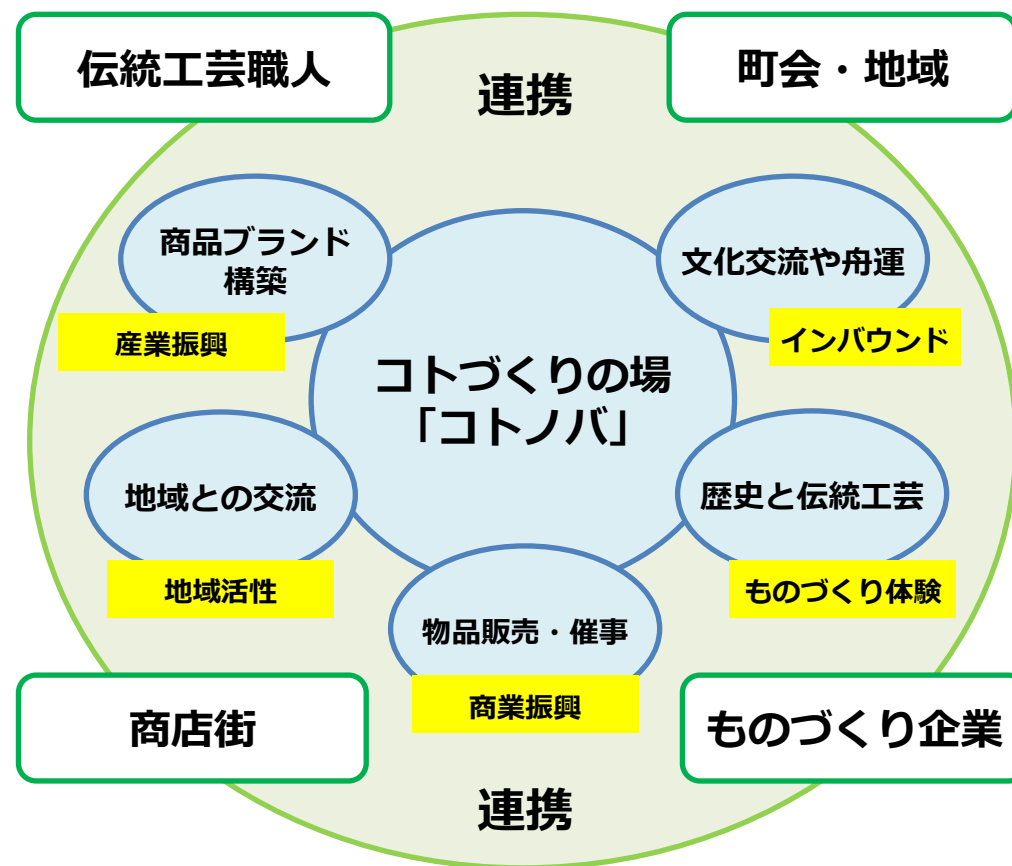
伝統工芸職人との交流による体験の場とする。

⑤物品販売や催事

商店街の催事に対応する。

事業のイメージ

新たなプロモーション手法の検討



23 ～水辺を活用した地域の魅力向上～ 北十間川・隅田公園 観光回遊路整備事業

予算額(拡充)
849,758千円
都市整備課 480,758千円
(1)(2)(4)
道路公園課 369,000千円
(3)

問合せ
都市整備課長 天海 晴彦 内線3911
道路公園課長 齋藤 雄吉 内線5051
公共施設マネジメント担当課長
戸梶 大 内線3751

1 目的

北十間川西側区間(隅田川～東武橋)において、東京都の耐震護岸整備や東武鉄道株の高架下整備に合わせて、隅田公園、コミュニティ道路、親水テラス、船着場の整備及び小梅橋の架替えを、2020年に向けて行う。

これにより、公園、道路、高架下、水辺が一体となった賑わい空間を創出することで、回遊性の向上を促進する。

2 主な事業内容

(1)コミュニティ道路整備 【102,616千円】

■整備工事等

(枕橋～源森橋及び源森橋～小梅橋間)

(2)隅田公園再整備 【251,100千円】

■隅田公園再整備工事(施設整備)等

[243,100千円]

■公共空間の運営・活用手法の検討業務

[8,000千円]

(3)小梅橋架替え 【369,000千円】

■下部・上部工事、橋面工事等

(4)河川施設整備等 【127,042千円】

■テラス修景整備工事等

[73,900千円]

(枕橋～源森橋の北側及び源森橋～小梅橋の北側)

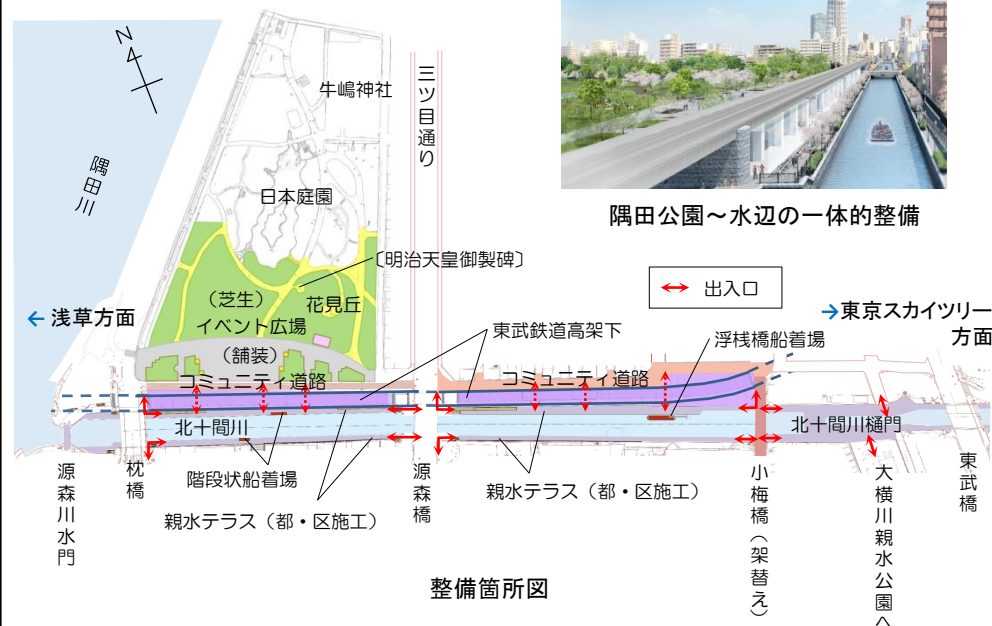
■船着場整備工事等

[46,615千円]

■地元協議会運営補助業務等

[6,527千円]

■整備概要



■整備イメージ



隅田公園



浮棧橋船着場



小梅橋

外国人観光客のみなさん すみだへいらっしゃ～い

1 目的

東京2020大会を前に、外国人観光客が増加していることから、外国人と区民の異文化理解を促し、交流の機会を設ける。さらに、外国人観光客のさらなる誘客を図るために、墨田・台東の魅力を連携してPRする。

2 主な事業内容

(1) 外国人観光客と区民の観光交流推進(新規)【4,000千円】

墨田区観光協会を中心に、区内事業者や区内団体等と連携しながら、区民と外国人観光客の交流の機会を設ける。

事業例: 食を通じた交流、ものづくりワークショップ、地域の
お祭りや盆踊りへの外国人観光客の誘致 など

(2) 外国人向け江戸文化体験ツアー(新規)【5,000千円】

(台東区との連携推進事業の一環)

「欧・米・豪」を中心とした外国人観光客をターゲットに、江戸文化体験やナイトライフ(夜間に楽しめる観光コンテンツ)を盛り込んだモニターツアーを実施する。

予算額(新規)
9,000千円

問合せ
観光課長
菅原 幸弘

内線5481

観光交流推進事業(イメージ)



外国人観光客
すみだの“地域の日常”を体験

区民
外国人との共生への第一歩

モニターツアー(イメージ)



江戸文化



ナイトライフ



墨田・台東連携の力で外国人観光客の誘客へ

北斎没後170年！2020年の北斎生誕260年 に向けて北斎ムーブメントの“うねり”を創出 北斎を通じた文化芸術プロモーション

予算額(拡充・継続)
35,630千円

問合せ
文化芸術振興課長
南部 友孝

内線5451

1 目的

北斎没後170年を迎え、ますます広がる北斎ムーブメント。2020年の北斎生誕260年に向けて、より北斎の“うねり”を創出するべく、北斎生誕の地・すみだから、各種プロモーションを展開する。

2 主な事業内容

(1) 北斎交流プロモーション(拡充)【5,630千円】

① 北斎×川柳プロモーション

台東区との文化交流事業として、北斎と川柳をテーマに川柳公募、展示、まち歩き等を実施。

② 北斎画シティドレッシング

北斎没後170年の節目に、すみだ北斎美術館と小布施町・北斎館の間で実施する交流企画展の開催に合わせて北斎通りにPRフラッグを掲出！

(2) すみゆめ プロジェクト(継続)【30,000千円】

北斎・隅田川をテーマに展開する文化芸術プロジェクト。昨年度に引き続き、文化芸術への関心を巻き起こす実験的なアートプログラムを展開！

北斎没後170周年記念 北斎交流プロモーション



隅田川 森羅万象 墨に夢 (すみゆめ)

≪平成30年度実績≫

ミラーボールカー

メディア掲載実績
・TBS Nスタ

≪平成30年度実績≫

ファスナーの船

メディア掲載実績
・読売新聞
・産経新聞

飽きない！空かない！商店街の商いを応援！ 商業振興施策を“Scrap & Build！”

予算額(拡充)
48,400千円

問合せ
産業振興課長
中山 賢治

内線5431

1 目的

商業振興施策全体の見直しを図り、より実践的・効率的・広域的な取組を実施する。

2 事業内容

- ・オリパラ直前に行うインバウンド対策の提案。
- ・商店街全体の多言語化、地域と連携した商店街事業への補助。
- ・これまでの商店街への補助事業で培われたノウハウを生かし、新たな補助事業を展開。
- ・「お店自慢」で商業活性化に繋げる個店PR支援を強化。

3 主な事業

(1) 商店街連合会補助事業【5,000千円】

- ・**お店の自慢話をしよう** 個店魅力発信事業(商店のPR動画配信)
- ・**おとなには見えない視点、あります** 商店街×学生コラボレーション事業
- ・**店つながる墨田区** 若手商業人大交流会

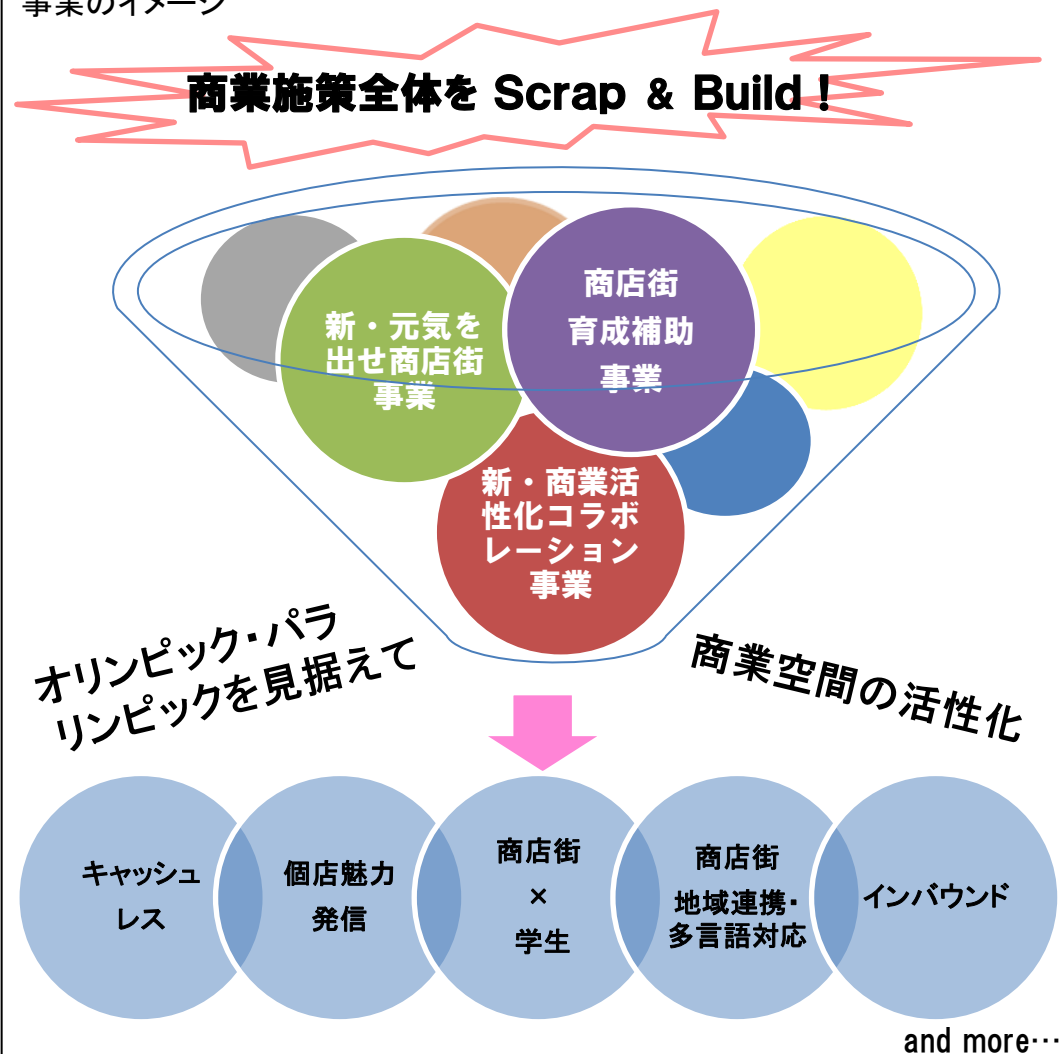
(2) 商店インバウンド対策事業【2,600千円】

- ・**入店前のお・も・て・な・し** ピクトグラム表示キットの配布
- ・**オリパラ直前！今から間に合う** インバウンド実践フォーラム

(3) 商店街チャレンジ戦略支援事業【40,800千円】

- ・**めざせ！グローバル商店街！** 多言語対応事業
- ・**地域で取組む商店街イベント！** 地域連携型商店街事業
- ・**来る人の心に残るイベントを！** 商店街イベント補助事業
- ・**目で楽しめる商店街をめざして** 商店街育成補助事業(ハート改修等)

事業のイメージ



27 すみだはみなさんの活躍できる舞台です
さらに前進！
すみだのシティプロモーション

予算額(継続)
24,595千円

問合せ
広報広聴担当課長
若菜 進

内線3611

1 目的

地域の魅力を区内外に効果的に発信することで、区民の地域への愛着と誇りを醸成するとともに、区外からの憧れと共感を呼び起こす。これにより、まちづくりに関わる人を増やし、シティプロモーションを力強く推進する。

2 主な事業内容

(1) イメージアップ事業(継続)【12,290千円】

ア すみだ・すみこなしマガジン「SUMI SUMI」の発行
イ 音声・映像による東京2020大会の機運醸成 など

(2) シビックプライド醸成事業(継続)【8,589千円】

ア すみだの魅力発信サイト「SUKI SUMI」の運営
イ すみだ子どもPR大使の育成
ウ すみだの魅力PR動画コンテストの実施 など

(3) スタッフプライド涵養事業(継続)【3,716千円】

ア プロモーションサポート事業
イ 職員の広報力アップ研修 など

■ 事業のイメージ

(1) すみだ・すみこなしマガジン「SUMI SUMI」

子育て世帯を対象に、区が行っている支援や施設などを紹介した冊子。
墨田区への転入を促進するため、地域の不動産屋でも配布。



(2) すみだの魅力発信サイト「SUKI SUMI」

すみだを舞台として活躍している人や活動など、すみだのさまざまな情報が集まるプラットフォーム。



すみだチャンネル



すみだ子どもPR大使



千葉大学写真部



すみだをすみこなす情報

すみだに大学キャンパスがやってくる 大学のあるまちづくり

予算額(継続)
1,025,160千円

問合せ
政策担当課長
小板橋 一之

内線3711

1 目的

大学を誘致することで、若者や知的人材の流れを呼び込み、地域経済の活性化や地域の賑わいを創出する。さらに、大学の持つ資源を活かして、教育環境の向上や、国際化の推進、産業の振興などに取り組む。

2 主な事業内容

(1) 大学誘致の推進(継続)

- ①旧すみだ中小企業センター改修工事等
【1,009,011千円】
- ②国立大学法人千葉大学との事業連携等
【16,149千円】

3 今後のスケジュール(予定)

- 平成32年1月 旧すみだ中小企業センター
改修工事着工
- 平成32年4月 学校法人電子学園
「i専門職大学」(仮称)を開学
- 平成33年4月 国立大学法人千葉大学
「デザイン・建築スクール」を開設

大学整備用地エリア(文花一丁目)の
施設配置イメージ
(配置は構想のため未決定)



i専門職大学(仮称)
キャンパスイメージ
【資料提供】
学校法人電子学園

東京2020大会に向けた気運醸成

1 目的

大会1年前であることを踏まえ、これまで以上に積極的なPR活動を展開しながら、様々な形で区民が大会に関わる機会を設け、「オールすみだ」で盛り上げる。

2 主な事業内容

(1)ボクシングキャラクター活用事業(拡充)【13,500千円】

国技館でのボクシング競技の開催を広く周知するため、区ゆかりの漫画「あしたのジョー」を活用し、チラシやポスター等のPRツールを作成するほか、競技会場周辺を中心としたシティドレッシングを行う。

- ①PRツール製作等 [9,500千円]
- ②シティドレッシング [4,000千円]

(2)競技体験事業(拡充)【12,300千円】

大会への期待感を高め、一層の気運醸成を図るため、1年前の節目等に合わせ、ボクシングをはじめ各種競技を体験するイベント等を開催する。

- ①競技体験イベント(節目記念事業)実施 [10,000千円]
- ②すみだまつり等での普及啓発ブース運営等 [2,300千円]

(3)地域協議会の運営【2,322千円】

区民、関係団体等の発想力や企画力を生かしながら、地域協議会を運営することで、オリパラ後にも区民の各種活動や取組をレガシーとして残し、地域力の向上を目指す。

(4)ボランティアの運営(新規)【1,000千円】

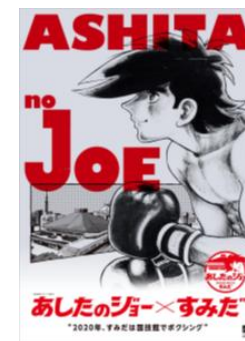
区独自ボランティアを広く募集し、幅広い年代の区民が聖火リレーや関連イベント等に、気軽に参画できる仕組みを作ること、その経験が大会後にも多くの人々のレガシーとなることを目指す。

予算額(新規・拡充)
29,122千円

問合せ
オリンピック・パラリンピック準備室長
岐部 靖文
内線5460

(1)ボクシングキャラクター活用事業

「あしたのジョー」のビジュアルを活用した各種ツールを作成し、競技会場のある両国地域を中心に装飾することで、大会に向けた期待感を高める。



©高森朝雄・ちばてつや/講談社

(2)競技体験事業

ボクシングやその他東京2020大会で実施される各種競技の体験、オリンピック等によるトークショーなど、子どもから大人までが「見て、聞いて、体験して」気軽に楽しめるイベントを開催する。事業運営に当たっては、地域協議会と連携しつつ、積極的にボランティアを活用する。



＜決起大会＞



＜ボッチャ体験＞

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺の整備

予算額(継続)
1,098,800千円

問合せ
道路公園課長
齋藤 雄吉

内線5051

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺の道路において、来街者の安全対策を図るとともに、まち歩き観光を楽しむ回遊ルートを整備する。

また、旧安田庭園を魅力ある観光資源として、継続的に整備する。

2 主な事業内容

(1) オリンピック・パラリンピック競技会場周辺整備事業【835,000千円】

■道路景観整備

墨6号、墨7号、墨10号路線 [280,000千円]
国技館通り [295,000千円]

■電線共同溝整備(引込連系管路工事)

墨6号、墨7号、墨10号路線 [260,000千円]

(2) 歩行者・自転車通行空間再整備事業【233,600千円】

■バリアフリー整備

区役所通り [185,000千円]

■自転車通行空間整備

区役所通り、北斎通 [48,600千円]

(3) 旧安田庭園再整備事業【30,200千円】

■園路改修、階段改修等

■事業箇所図と整備イメージ



地域も一体！両国観光推進

1 目的

東京2020大会を契機とし、ボクシング会場となる両国地区において、地域ぐるみによる観光推進や観光客の暑さ対策などを行い、大会後もレガシーとなる取組を進めていく。

2 主な事業内容

(1) 両国DMOの推進(新規)【2,000千円】

- ①観光事業に携わる民間事業者や団体同士の結びつけ
- ②事業者同士で観光事業を行う際の企画・資金確保・広報活動・行政手続き等のサポート など

(2) 両国クールシェアマップ作成に伴う調査(新規)【2,640千円】

クールスポットを中心とした様々な情報を一元化したマップを作成し、クールシェアを地域に根付かせる。
 平成31年度：賛同・協力いただける施設や民間事業者等の調査・発掘
 平成32年度：両国クールスポットマップ作成
 観光客等へ周知

予算額(新規)
4,640千円

問合せ
観光課長
菅原 幸弘 内線5481
環境保全課長
島崎 進 内線5461

両国DMO(イメージ)



人がつながる 新たなスポーツ拠点 墨田区総合運動場の整備

予算額(新規・継続)
1,047,248千円

問合せ
スポーツ振興課長
大野 勝

内線5490

1 目的

スポーツ及びレクリエーションを広く普及し、区民の健康で文化的な生活の向上に加え、世代・地域間等の多様な交流促進によって、地域力の向上を実現する。

2 主な事業内容

(1) 墨田区総合運動場の整備(継続)【1,034,108千円】

平成31年12月供用開始

■トラック

全天候舗装の300mトラック、6レーン

■インフィールド

人工芝舗装のグラウンド

■セミナーハウス

宿泊室(60名宿泊可能)、トレーニング室、多目的室

■付帯施設

観覧席、駐車場、駐輪場

(2) 開場記念式典等(新規)【13,140千円】

平成31年12月1日(予定)の開場に合わせ、内覧会やスポーツイベントを実施する。また、墨田区総合運動場を活用したマラソンイベントを実施する。

【30年度】 工事着工、指定管理者の募集・選定等

【31年度】 竣工、供用開始(12月)

墨田区総合運動場 (墨田区堤通 2-11-1) 完成予想図

セミナーハウス

(宿泊室(和室7+洋室1)、
トレーニング室、多目的室)

駐車場

(30台)

観覧場

(建築式約400席、芝生席約1000人、
放送・記録室等)



敷地面積 約16,342㎡

陸上競技場(全天候舗装)

(300mトラック、110m直走路、
走り幅跳び、高跳び、砲丸投げ等)

フィールド(人工芝)

(少年サッカー(1面)、フットサル(3面))
※ スポーツ以外にも多目的な利用が可能!!

参考資料

◆平成31年度当初予算案と平成30年度当初予算の比較

◆平成31年度一般会計歳入歳出予算(案)

平成31年度当初予算案と平成30年度当初予算の比較

一般会計 119,255,000千円	一般会計 119,515,000千円 (+260,000千円)
国民健康保険特別会計 28,067,000千円	国民健康保険特別会計 26,862,000千円 (-1,205,000千円)
介護保険特別会計 21,267,000千円	介護保険特別会計 22,596,000千円 (+1,329,000千円)
後期高齢者医療特別会計 5,527,000千円	後期高齢者医療特別会計 5,723,000千円 (+196,000千円)

平成30年度当初予算
174,116,000千円

平成31年度当初予算案
174,696,000千円
(+580,000千円)

平成31年度一般会計歳入歳出予算(案)

(歳入)

(単位：千円)

科 目		平 成 3 1 年 度		平 成 3 0 年 度		比 較 増 △ 減	
		予 算 額	構成比 (%)	予 算 額	構成比 (%)	増 △ 減 額	増△減率 (%)
1	特 別 区 税	24,213,000	20.3	23,809,000	20.0	404,000	1.7
2	地 方 譲 与 税	367,000	0.3	350,000	0.3	17,000	4.9
3	利 子 割 交 付 金	104,000	0.1	72,000	0.1	32,000	44.4
4	配 当 割 交 付 金	436,000	0.4	321,000	0.3	115,000	35.8
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	430,000	0.4	88,000	0.1	342,000	388.6
6	地 方 消 費 税 交 付 金	5,109,000	4.3	5,244,000	4.4	△ 135,000	△ 2.6
7	自 動 車 取 得 税 交 付 金	93,000	0.1	273,000	0.2	△ 180,000	△ 65.9
8	環 境 性 能 割 交 付 金	32,000	0.0	0	0.0	32,000	皆増
9	地 方 特 例 交 付 金	196,000	0.2	186,000	0.1	10,000	5.4
10	特 別 区 交 付 金	42,364,000	35.4	40,669,000	34.1	1,695,000	4.2
11	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21,000	0.0	25,000	0.0	△ 4,000	△ 16.0
12	分 担 金 及 び 負 担 金	2,812,754	2.3	2,582,469	2.2	230,285	8.9
13	使 用 料 及 び 手 数 料	2,291,563	1.9	2,171,874	1.8	119,689	5.5
14	国 庫 支 出 金	23,259,071	19.5	23,384,071	19.6	△ 125,000	△ 0.5
15	都 支 出 金	9,532,831	8.0	9,338,476	7.8	194,355	2.1
16	財 産 収 入	172,438	0.1	118,006	0.1	54,432	46.1
17	寄 付 金	305,980	0.3	326,390	0.3	△ 20,410	△ 6.3
18	繰 越 金	1,500,000	1.2	1,500,000	1.2	0	0.0
19	諸 収 入	1,441,186	1.2	1,509,001	1.3	△ 67,815	△ 4.5
20	繰 入 金	2,022,177	1.7	3,582,713	3.0	△ 1,560,536	△ 43.6
21	特 別 区 債	2,812,000	2.3	3,705,000	3.1	△ 893,000	△ 24.1
合 計		119,515,000	100.0	119,255,000	100.0	260,000	0.2
						(計数未整理につき変動ある見込み)	

	(歳出)						(単位：千円)
科 目		平 成 3 1 年 度		平 成 3 0 年 度		比 較 増 △ 減	
		予 算 額	構成比 (%)	予 算 額	構成比 (%)	増 △ 減 額	増△減率 (%)
1	議 会 費	677,283	0.6	659,567	0.6	17,716	2.7
2	総 務 費	9,972,806	8.3	9,155,269	7.7	817,537	8.9
3	区 民 生 活 費	6,905,147	5.8	7,142,936	6.0	△ 237,789	△ 3.3
4	資 源 環 境 費	4,037,688	3.4	3,947,818	3.3	89,870	2.3
5	民 生 費	67,917,205	56.8	67,144,909	56.3	772,296	1.2
6	衛 生 費	4,082,892	3.4	3,923,030	3.3	159,862	4.1
7	産 業 観 光 費	1,626,673	1.4	1,654,200	1.4	△ 27,527	△ 1.7
8	土 木 費	11,226,466	9.4	11,121,515	9.3	104,951	0.9
9	教 育 費	9,968,739	8.3	11,364,869	9.5	△ 1,396,130	△ 12.3
10	諸 支 出 金	3,000,101	2.5	3,040,887	2.5	△ 40,786	△ 1.3
11	予 備 費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
合 計		119,515,000	100.0	119,255,000	100.0	260,000	0.2
					(計数未整理につき変動ある見込み)		